

第4章 基本方針

1 視点

基本方針の設定に当たっては、これまでの様々な取組によって培ってきた文化的な土壌や環境を活かしつつ、必要な改善を図ります。

また、より発展的に次代に継承するために、現行の取組に加え、前章までに抽出した課題と基本理念を踏まえ、次に掲げる視点により方針の充実改善を図ります。

- 1 高砂市らしい施策
- 2 情報発信の強化
- 3 活動の場の充実
- 4 若い世代が文化芸術に触れる機会の充実
- 5 誰もが参画できる文化芸術活動や鑑賞の促進
- 6 産業、観光、国際交流施策との連携
- 7 新型コロナウイルス感染症等への対応



2 方針理念

文化芸術は、心に癒しとuringおいを、時に勇気を与え、目まぐるしく様変わりする社会において、普遍的かつ包容的に生きる活力を与えてくれます。

個性や感情を自由に表現できる多様性をもつ「文化」が創造力を育み、創造力が人を育て、人がつながり合うことでまちの活力を生み出します。

先人が培った文化を継承し、今ある文化を積み重ね次代に引き継ぐために、産業、観光、福祉、教育など多面的な施策を展開し、あらゆる人が文化に触れることができるまちづくりを目指し、次のとおり本方針の理念を掲げます。

つむぎ つながり つくりだす
文化と共に育つまち 高砂

方針理念について

つむぎ

高砂市特産品「松右衛門帆布」を織りつむぐように、個々が感性を育み、自己の創造力を高め、個性あふれる文化芸術意識を築くことをめざします。

つながり

結びのまち高砂において、個人や団体、事業者が文化芸術をきっかけに新たに
つながり、結びつくことで、それぞれの魅力を再発見し高め合うことをめざし
ます。

つくりだす

文化芸術意識の醸成により創造力を育み、自らが創り出す力をもつ市民が増える
ことにより、活力あるまちを創ることをめざします。

文化と共に育つまち

幼少期から地域文化や質の高い文化芸術を体験し、年齢を重ねても、ふるさと
高砂の色が記憶によみがえるような人づくりをめざします。

3 基本目標

基本目標1 文化芸術に親しむ機会をつくります【みる・きく・ふれる】

- ・誰もが気軽に文化芸術を鑑賞し体験できるような機会をつくります。
- ・次代を担う子ども世代、若者世代が文化芸術に触れ、楽しむ機会をつくります。

施策1	文化芸術を鑑賞する機会の充実 鑑賞者のニーズに合った鑑賞機会の充実を図ります。
施策2	文化芸術を体験する機会の充実 興味のある分野を体験する機会の充実を図ります。
施策3	子ども、若者世代が文化芸術に触れる機会の充実 若年世代の活動拠点において、文化芸術に触れる機会の充実を図ります。
施策4	謡曲「高砂」に触れる機会の充実 謡曲「高砂」について知る機会の充実を図ります。

基本目標2 文化芸術活動の活性化を応援します【みせる・そだてる】

- ・市民や団体の文化芸術活動を活性化させるため、活動の発展や継続を支援します。
- ・文化を担う人材の育成や活用機会の充実を図ります。
- ・文化を通じ、市民、団体、企業等の協働と連携を支援します。

施策1	活動する個人や団体の活動推進 個人や団体の主体的な活動を支援し、活発化を図ります。
施策2	人材の育成と活用 文化に精通する指導者から学ぶ機会を充実し、郷土愛の醸成と指導者の育成を図ります。
施策3	文化芸術振興のための環境づくり 学びと活動を結びつけるため、市民、団体、企業等との連携を促進します。
施策4	謡曲「高砂」の普及 謡曲「高砂」の普及啓発を図ります。

基本目標3 市の文化を守り、みつけ、育てます【つなげる・みつける】

- ・古代から継承されてきた貴重な文化資源を保存し、次代に引き継ぎます。
- ・文化的価値のある文化資源を発掘、顕彰し、地域への誇りを高めます。
- ・文化を支える人物やものの功績や価値を称え、市の誇りとして顕彰します。
- ・文化資源を市のシンボルとして活用し、普及啓発に努めます。

施策1	文化資源の保存と継承 市民や団体等、多様な主体との連携により文化資源の保存と継承を図ります。
施策2	文化資源と文化的人材の顕彰 地域の文化的財産を発掘するとともに、価値や功績を顕彰します。
施策3	文化資源の普及啓発 文化資源や文化財を活用することにより、魅力の発信を図ります。
施策4	謡曲「高砂」の継承 謡曲「高砂」を市の宝として次代につなげます。

基本目標4 情報を広く伝えます【つたえる・ひろがる】

- ・文化芸術に関する活動、人材、施設等に関する情報収集、提供に努めます。
- ・文化芸術活動を行う市民、団体からの意見を聴取し、文化振興の機会をとらえます。

施策1	情報の収集と発信 市民、団体等と連携しながら、文化芸術活動や施設などの情報を収集し、積極的に発信します。
施策2	電子媒体を活用した情報発信 SNS等の活用など、ターゲットに応じたより効果的な情報発信手法を取り入れます。